



受け入れ人数を最大化しました！



目黒区病後児保育施設『ロコキッズケア』

受け入れ人数 2 → 4 人へ

未曾有のコロナ禍はみなさんの生活を激変させ、おとなにとっても子どもにとっても苦しい3年間を過ごされたと思います。目黒区の地域で少しでも子育てをしやすく、そしてパパママが働きやすくなるように、このたび目黒区の委託事業として病後児保育施設『ロコキッズケア』をオープンしました。

行政の枠組上「病後児＝病気の回復期」という名目ですが、実際には急性期の状態からお預かりしています。一部お預かりできない疾患や状態などもありますので、詳細はホームページをご覧ください。開設当初は**2名の受け入れ**から始めましたが、少しずつ運用も固まってきたことから、5月のGW以降は受け入れ人数を**3人**に、環境整備を追加して6月からは**最大4人の受け入れ体制**を整えることができました。なお、病状や疾患、受入状況によっては4人お受けできないこともありますので、ご理解のほど、よろしくお願い致します。



保育室の壁には中目黒の街がファンシーに描かれ、病気のお子さんが少しでも楽しい気分になるように想いがこめられています！

病児保育専用ネット予約サービス

『あずかるこちゃん』導入！

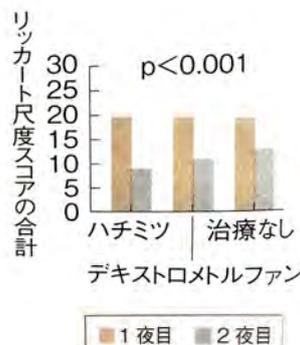
目黒区は全国の中でも先進的に病後児保育施設運用に際して予約システムのICT化を決定しました。これは保護者の利用ハードルを上げる大きな要因になっているため、本当に素晴らしいことです。まだ実運用には少し時間がかかることが予想され、当施設では先んじて病児保育専用ネット予約サービス『あずかるこちゃん』を導入しました。朝の忙しい時間帯に利用の可否の電話をする、施設側・保護者側双方の大きなストレスをLINE通知で解消したのが特徴です。利用開始してまだ2ヶ月ですが、すでにその簡便さの恩恵を感じています。まずは事前登録だけでもぜひぜひ、お待ちしております。



5月のキッズトリビア

はちみつが子どもの咳症状に効くってホント！？

子どもって本当に年中かぜ引きますよね。特に保育園の行き始めなんてもらってきたウィルスを両親がもらって、親もずっとかぜ症状に悩まされる、ってアルアルです。かぜ症状で多いのは、発熱・喉の痛み・鼻汁・咳などですが、やっぱり咳が一番長引いて夜も眠れない、というのは親の共通の困りごと。ウィルスをやっつける薬はないから自然経過で良くなるを待ちつつ、不安な時は受診して合併症になってないか確認



出典 子どもの風邪 にしむら小児科 西村龍夫 著

するくらいしかできることってなかったりします。そんな時にお家でできるケアをご紹介します！寝る前に2.5ml程度のはちみつを飲むと、咳の頻度や重さ、睡眠（こどもも親も）が改善する、というデータがあるんです。表では介入なしの1夜目よりもグレーで示した2夜目で咳止め群よりもはちみつ群の方がアンケートの尺度が改善しているのがわかります。ミルク90mlとはちみつ10mlを混ぜて3日間投与するのと咳止め内服効果が同等だった、なんてデータもありますのでぜひ試してみてください！気軽にできるケアの方法も少しずつお伝えしていきます。

※なお、はちみつは1歳未満には使用できないので、ご注意ください！

Effect of honey, dextromethorphan, and no treatment on nocturnal cough and sleep quality for coughing children and their parents Arch Pediatr Adolesc Med. 2007 Dec;161(12):1140-6.

利用可能登録者数 130名
(あずかるこちゃん事前登録数)

5月の利用者数 45名
(助成対象外利用者を含む)

ご協力をお願い

おうちにある、いらなくなったおもちゃや絵本、衣服をぜひロコキッズケアで再利用させてください。地域の皆さまと支え合う施設をめざしています。ぜひ皆さまからの寄付をお待ちしています！



所在地 東京都目黒区東山1-9-8 高橋ビル
開所時間 月曜日～金曜日 08:00 - 18:00
電話 03 - 3714 - 6565
運営機関 ロコクリニック中目黒